



ワケあり盲腸線探訪
 全国行き止まり路線ガイド
 大野雅人 著／樫出版社
 1260円／A5判

起点もしくは終点のどちらかが、他の路線に接続されていない行き止まりの線を盲腸線と呼ぶ。地域産業と盛衰をともにした路線、海・山・川や娯楽施設とぶつかった路線、参詣客を送るための路線など、何らかの理由で途切れている路線55カ所を事実と妄想を織り交ぜて紹介。乗れない路線や新聞輸送列車など、電車マニアでなくとも楽しめるコラムも。



しまなみライフ
 船長が撮るふるさとの子どもたち
 阿部高嗣 著／雷鳥社
 1575円／四六判三コ

貨物船に乗り3カ月おきにしか家族に会えない父親が、瀬戸内海に浮かぶ伯方島で暮らすわが子を撮った写真集。虫取りに熱中し、裸で海に飛び込み、風呂敷マントをつけて駆けまわる子どもたちの、全身全霊で遊ぶ姿や自然体の表情がよく、自然がすぐそばにある島の情景は日本の原風景のよう。懐かしい風景や家族の姿に、幸せな気持ちになる1冊。



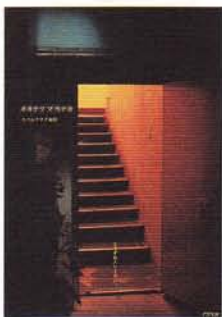
ハリリー・ポッターへの旅
 イギリス&物語探訪ガイド
 MOE編集部 十内史子 著
 白泉社／1470円／A5判

オールカラーで「ハリリー・ポッター」の世界を案内するガイド。前半は「イギリス探訪」。物語に登場する場所や映画のロケ地、作者のJ.K.ローリングの人生に沿って、ゆかりの地や着想を得た場所など、イギリス各地を紹介。後半は「物語探訪」として、物語の名台詞や伏線を取り上げ、より深く読み解く。イギリスと物語、いずれの魅力も伝わってくる。



地域ブランドを引き出す力
 トータルマネジメントが
 田舎を変える！
 金丸弘美 著／合同出版
 1470円／四六判

食総合プロデューサーとして全国を巡る著者が、食・農・地域・町づくりをキーワードに様々な取り組みを紹介。山形県の「食の甲子園」、豊岡市のコウノトリ復帰プロジェクト、フランスの味覚教育など、国内外の現場に赴く。「お年寄りが生き生きしている」「農業に活気がある」「女性に活躍の場がある」など、希望ある実例から地域づくりのヒントを提示。



オキナワ マヨナカ
 カベルナリア吉田 著
 アスペクト／1680円
 A5判

沖縄や離島を中心に取材を続けてきた島旅ライターの20冊目の単行本は、真夜中がテーマ。路地裏で見つけた珠玉のバー、深夜に居酒屋に早変わりするコンビニ。かつての売春宿街や社交街、基地の街の喧噪と混沌にまぎれて、もうひとつの沖縄を訪ね歩く。著者の求める「沖縄の夜」はあるのか？ 明るい南国のイメージの陰に隠れた、17の夜のルポ。



バッタ・コオロギ・キリギリス 生態図鑑
 日本直翅類学会 監修／村井貴史・伊藤ふくお 著／北海道大学出版会
 2730円／四六判

2000枚を超える写真で、日本のバッタ、コオロギ、キリギリス全450種を収録。どこにどの種類が棲んでいるか生息環境をカラーで表示し、特徴的な形態図や部分拡大・顔面写真で見分けの難しいグループもわかりやすく掲載。さらにCD付きで、とくに美しい音色が自慢のキリギリスとコオロギの鳴き声も聴ける。虫好き親子から研究者まで対象の本格図鑑。

事には描かれた作品である。(片岡義明)

戦前に気持ちを寄せ合っていたにも関わらず、一緒にいられなかったという過去がある。過去と現在が交錯しつつ、虫がうごめく奇怪なイメージや、低い声で朗読される万葉歌が随所に入り、観客を幻想的な雰囲気包んでいく。そこに見えるのは男女の普遍的な愛情劇だ。本作は、そんな大昔から今に至るまで変わることのない人の営みが見事に描かれた作品である。(片岡義明)

奈良の飛鳥地方で起こった時を超えた男女の愛憎劇

古くから「飛鳥」と呼ばれている奈良県高市郡明日香村の付近を舞台とした作品である。この地には「大和三山」と呼ばれる歌嶮山と香貫山、耳成山があり、これらの山々を男女に見立て、万葉歌では、1人の女を2人の男が奪い合う歌が詠われていたという。

この映画はその歌のような愛の物語を現代を舞台に描いた作品で、橿原市、明日香村、高取町の3市町村の協力によって製作された。大和三山をはじめとした雄大な飛鳥の風景は、この作品のもつひとつの見どころと言える。

タイトルの「朱花」とは万葉集に登場する朱色の花のことで、本作はこの色に魅せられた染色家の加夜子(大島葉子)を中心に展開する。加夜子は地元PR誌の編集者の哲也(明川哲也)と一緒に暮らしているが、かつての同級生で木工作家の拓未(こみずとうた)と愛し合うようになっていた。ある日、加夜子が妊娠したことを拓未に告げてから日常に変化が訪れる。

2011年製作 監督／河瀬直美 配給／組画 出演／こみずとうた、大島葉子、明川哲也、鷹赤兒、小水たいた、樹木希林ほか 9月3日より渋谷ユーロスペース、TOHOシネマズ橿原ほか全国で順次公開



気になる景色や、気になるロケ地
旅する映画
 はねつ
朱花の月